

第 18 回アジア結晶学会に参加して

M2 青木 一步

今回は、12月1日から12月6日までマレーシアのクアラルンプールで開催された第18回アジア結晶学会（AsCA2024）に参加しました。クアラルンプールの街はとても活気に溢れていて、至る所に構造ビルや大型ショッピングモールがあり、多くの人で賑わっていました。



街の中心に位置する駅での乗り換え途中の景色



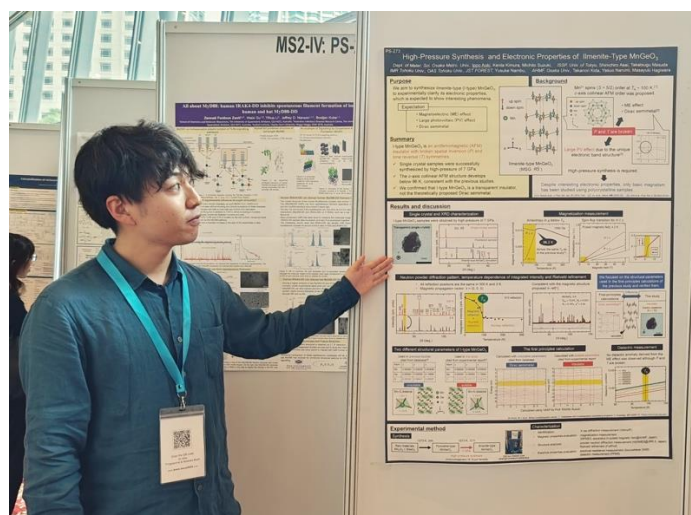
街を歩いていると見えるペトロナスツインタワー

今回の学会では結晶に関連した研究の発表が行われ、化学、生物、原子核工学など多岐にわたる分野の研究発表は非常に興味深かったです。他の方に発表内容に関して英語で質問をしたり、逆に自分の発表に

関して英語で答えたりするのは一筋縄ではいきませんでした。どの方も丁寧なやりとりをして下さり、有意義な交流を行うことができました。現地で出会った方は皆さんフレンドリーで、特に一緒にお昼ご飯を食べた現地の研究者の方がとても親切で、現地でおすすめの料理や観光スポットについて教えてくれました。



学会の会場



発表の様子

実際に教えてもらったお店へ行き、「ナシレマ」という鶏肉料理を食べました。「ナシ」はお米を、「レマ」はココナッツミルクの意味であるそうで、ご飯と鶏肉の相性がよく美味しかったです。赤い方のチキンがとても辛くていい思い出になりました。さらに「バトゥ洞窟」という場所もおすすめしてもらったので、電車に乗って行きました。とても大きな像が立っていて圧倒されました。気温が30度近くある中、272段あるらしい階段を登ってみるととても大きな洞窟があり、鳥や猿がたくさんいました。



ナシレマの写真



マレーシアの電車



遠くから見たバトゥ洞窟



バトゥ洞窟と猿

街を歩いていて遠目からでもよく目立ち、気になっていたペトロナスツインタワーに登ってみました。学会の会場からすぐの場所にあり、クアラルンプールの街並みを一望できました。今回の学会を通して、海外の研究に携わる方々と直接交流することがとても刺激的で楽しく、貴重な経験となりました。ありがとうございました。



ペトロナスツインタワーからの景色



復路の飛行機からの眺め